

平成 28 年度 第 247 回教育研究審議会議事要録

日時 平成 28 年 5 月 17 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 35
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、柳井副学長、吉永事務局長、大平外国語学部長、田中文学部長、二宮法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、田島入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、後藤評価室副室長

配布資料

- 1-1 欠員補充申請書 (文学部)
- 1-2 欠員補充申請書 (法学部)
- 2 ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジとの覚書締結について
- 3-1 本学大学教育再生加速プログラムの進捗状況及び事業延長について
- 3-2 平成27年度 全学生対象学修行動調査
- 3-3 えいぴー通信 新年度特別増刊号(6号) 2016年5月
- 4 平成29年度(2017年度) 地域創生学群入学試験の主な変更点について
- 5 平成28年度に実施する入学試験スケジュール
- 6 北九州グローバルパイオニア 平成27年度取り組み実績等について
- 7 第11回スポーツフェスタ(夏季)について
- 8 熊本地震等で被災した世帯の学生の授業料減免について
- 9 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第 1 号 教員の人事について

* 資料1-1のとおり、文学部からの申請に基づき、平成27年3月31日付けで定年退職した芳之内雄二教授の後任として、博物館学・文化資源論担当教員1名の欠員補充申請について提案。

- 比較文化学科では、世界の文化の多様性を学びつつ、地域文化への関心を育むことができる新カリキュラムを計画しており、それに合わせて、博物館学芸員課程の強化・再整備を計画している。しかし現在、博物館学を専門とする専任教員がいないため、芳之内教授の後任教員については、担当分野をロシア地域研究から博物館学・文化資源論へと変更し、採用することとしたい。また、今後の地域貢献という観点から見ても、世界的な視野・知見を持って地域の文化振興に寄与できる人材が必要である。
- 芳之内教授が担当していた科目は引き続き非常勤講師が担当する。
- 基盤教育センターは問題ないか。
- 芳之内教授が担当していた「ロシア語」について、現行カリキュラムの間は非常勤講師が担当することで了解している。
- 博物館学芸員資格取得のための必修科目を卒業要件の単位として認定するとあるが、問題はないか。卒業要件の単位として認定することになれば、現在より履修生が増加することが予想される。博物館学芸員資格取得のためには、博物館実習も必要となる。担当教員のマネジメント面で、負担が大きくなるのではないか。
- 博物館学芸員課程において、必修科目となるのは一部の科目であり、単位認定と合わせて、問題はないと考える。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-2のとおり、法学部からの申請に基づき、平成28年3月31日付けで割愛退職した植木淳教授の後任として、憲法学担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

第2号 ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジとの覚書締結について

* 資料2のとおり、ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジとの覚書締結について提案。

- ハワイにおける留学プログラム開拓を目的とし、ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジを訪問し、学術交流及び国際理解を深めるための協力プログラムにより得られる相互の利益を確認したため、覚書を締結することとしたい。覚書締結後、具体的条件等を定めた個別協定を別途締結し、派遣留学プログラムを開始する予定である。
- 覚書の日本語文に「目的」という項目が2つある。1つを別の文言に変えた方がよいのではないか。
- ご指摘の箇所について、修正を行いたい。

【議長】一部資料修正の上、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 本学大学教育再生加速プログラムの進捗状況及び事業延長について、資料3-1～3-2のとおり報告があった。
- ② 平成29年度地域創生学群入学試験の主な変更点について、資料4のとおり報告があった。
- ③ 平成28年度に実施する入学試験実施日程について、資料5のとおり報告があった。
- ④ 北九州グローバルパイオニア 平成27年度の取組み実績等について、資料6のとおり報告があった。
- ⑤ 第11回スポーツフェスタ(夏季)について、資料7のとおり報告があった。
- ⑥ 熊本地震等で被災した世帯の学生の授業料減免について、資料8のとおり報告があった。
- ⑦ 教員の海外出張について、資料9のとおり報告があった。
- ⑧ 次回の審議会を平成28年5月31日（火）に開催する予定である旨、報告があった。